

短期予報解説資料 2025年4月25日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5280m付近で -33°C 以下の寒気を伴う寒冷渦に対応した低気圧が中国東北区にあつて南東進。また、寒冷渦周辺の5400m付近のトラフに対応した低気圧が日本海北部にあつて北東へ進み、低気圧からのびるシアーラインが北日本を通過中。
- ② 500hPa 5760m付近の強風軸に対応した前線が華南から台湾を通過して沖縄の南へのびており、東シナ海ではやや強い雨や強い雨を解析。
- ③ 東シナ海には高気圧があつて、南東へ移動。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 25日夜にかけて500hPa 5400m付近のトラフが北日本を通過し、東日本から北日本の上空に寒気が入る。1項①の中国東北区の低気圧は、27日にかけて沿海州からオホーツク海へ進み、日本海北部の低気圧は、25日夜にかけて間宮海峡付近へ進んでここからのびるシアーラインが北日本を東に進む。また、26日にかけて関東の東から日本の東へシアーラインがのびる。上空の寒気、低気圧やシアーラインに向かう下層暖湿気、日中の昇温の影響で大気の状態が不安定となる所がある。また、26日夜は、500hPa -30°C 以下のこの時期としては強い寒気を伴ったトラフが東日本から北日本を通過する。北日本では27日にかけて、東日本では26日にかけて、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。特に東～北日本では26日は、上空の寒気が強く日中は晴れて地上気温が上昇して大気の状態が非常に不安定となる。竜巻などの激しい突風にも注意。
- ② 1項②の前線は、26日は華南から台湾付近に停滞するが1項③の高気圧が張り出して一旦活動が不活発となり、27日には500hPa 5760m付近のトラフ接近に伴い、北上して活動が活発となり、南西諸島では27日夜以後は再び大気の状態が不安定となる。南西諸島では25日は、大気の状態が非常に不安定となるため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、竜巻などの激しい突風にも注意。
- ③ 2項①の低気圧やシアーラインの近傍、及び、低気圧や2項②の前線と2項②の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島と北日本では27日にかけて、東日本では26日にかけて、西日本では26日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ## 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島・東海・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無

「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。